

前回 WS でのご意見を踏まえた評価項目と再配置案の修正

前回の議論を踏まえ、評価項目と再配置案を修正しました。

■前回 WS でのご意見

「防災」について

- 防災
 - 石山・東石山地域は地盤が低く水害が心配なので、水害や地震に強い安全な立地や各地域からの車が使えなくてもアクセスの良い施設配置になっているか等、防災の視点からも評価してほしい。
 - 風呂や調理室は災害時に活用できるので貴重な機能だと思う。「災害時に対応できる機能はあるか」「災害に強い施設か」といった防災の視点も評価項目に入れてほしい。

「施設へのアクセス」について

- 駐車場・多様な交通手段
 - 駐車場が狭いと利用しづらいので、駐車スペースが十分に確保できるかという評価項目が必要。
 - 駐車スペースが確保できるか、区バスの利用はできるかといったより具体的な内容を入れてほしい。
- 地域の中央
 - 地図上で地域の中央に位置するのはシルバーピア石山なので、この評価項目では案Vしか評価されないのではないか。

「多世代が集いやすい場所」について

- バリアフリー
 - 施設に来てからのバリアフリーだけでなく、施設までのバリアフリーなアクセスを確保することも重要だ。そこまで考えて、本当の意味でのバリアフリーだと思う。
- 多世代の内容
 - 多世代の中で、若者（学生）については明記されているが、乳幼児、小学生の居場所や高齢者のことに触れられていないのが気になる。

「サービスの維持」「案I：現状維持」について

- サービスの維持
 - 現状のサービスは維持できることを前提にしたいので、「現状のサービスを維持できるか」を評価項目もしくは前提条件として最初に文章に入れてもらいたい。
- 現状維持案
 - 案の特徴を読むとデメリットが多く書かれているので、再編ありきと感じさせる。もっと前向きな言い方は出来ないのか。

■評価項目と再配置案の修正内容・評価の方針

- 市としても、地域の防災機能は重要な論点と考えています。防災に関する課題・狙いを追加し、評価項目として「既存の避難所機能が維持できるか」を追加しました。
- 石山・東石山地域では各小・中学校及びシルバーピア石山の7施設が避難所に指定されているため、その機能の維持や配置について評価することとします。

- 公共交通手段や車でのアクセス等、具体的な評価項目を追加しました。
- 駐車場については施設整備をする際の基本構想等で検討するため、活用できる可能性のある場所をもとに評価することとします。
- 「地域の中央」の評価はアクセス性を踏まえて総合的に評価すべきというご意見と受け止めましたので、「公共施設へのアクセス性」の中で評価することとしました。

- 施設へ移動時のバリアフリーについては施設へのアクセスに含まれるため、「公共施設へのアクセス性」の中で評価することとしました。
- 評価項目の中に、多世代として、子育て世代、小学生、学生、高齢者を含めることを追記しました。

- 「現状のサービスを維持できるか」を評価項目に追加しました。
- 再編ありきではなく、市民にとってよりよい公共施設を実現することが重要と考えております。案Iでは、既存施設を大規模改修し、サービスを維持していくことを想定していましたが、説明書きが不足していたので補記しました。

課題解決の狙いと評価項目の設定 **【修正】**

※赤字は前回からの修正箇所

■ワークショップ等から抽出した課題と課題解決の狙い

公共施設の課題を解決するため、次の7つの狙いを設定しました。

【課題】

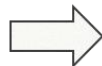
【狙い】

公共施設維持費負担の公平性やバランス



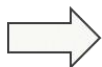
過度な財政負担が将来世代に残らない

施設へのアクセス・利便性低下への懸念



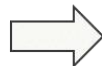
アクセスしやすい公共施設配置とする

ワンストップで用事が済ませられないと不便



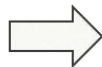
各種サービス機能が集約されている

地域内に運動できる場所が必要



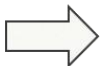
体を動かせる屋内スペースを維持する

多世代が集える場所が必要



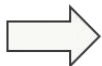
多世代が集いやすい場所を拡充する

石山、東石山地域の中央に行政サービスを提供する地域拠点がない



石山、東石山地域の中央に行政サービス（図書館、出張所）を含む地域拠点をつくる

部屋の予約が埋まっていて使いづらい



現状のサービスを維持できる

安全・安心のための機能確保



防災機能を維持する

■課題解決のための狙いと評価軸・評価項目（案）【修正】

資料5の再配置案が「課題解決の狙い」を達成できているか、以下の評価項目を使って比較評価します。

課題解決の狙い	評価軸	評価項目
① 過度な財政負担が将来世代に残らない	施設コスト	<ul style="list-style-type: none"> 今後30年間の施設に関するコストを削減できるか
② アクセスしやすい公共施設配置とする	公共施設へのアクセス性	<ul style="list-style-type: none"> 地域内のどの場所からも公共施設へのアクセスが良いか 公共施設への、車でのアクセスが良いか 駐車場のスペースが確保できるか 現在運行している公共交通手段(区バス等)でアクセスが可能か 石山・東石山地域の中央に図書館、出張所機能が集約された施設があるか
③ 施設機能が集約されている	施設のワンストップ性(機能集約性)	<ul style="list-style-type: none"> 1つの施設、またはその周辺に機能が集約されているか
④ 体を動かせる屋内スペースを維持する	運動ができる場所	<ul style="list-style-type: none"> 運動ができるなど、多目的に利用できる屋内スペースが確保されるか
⑤ 多世代が集いやすい場所を拡充する	あらゆる年代が利用しやすい場所	<ul style="list-style-type: none"> 施設のバリアフリーは十分か 多世代(子育て世代、小中高生、学生、高齢者等)が利用しやすい機能(学習室・フリースペース)を有しているか 多世代が利用する機能が一つの施設に集まっているか
⑥ 現状のサービスを維持できる	サービスの維持 貸室機能の維持	<ul style="list-style-type: none"> 再編後も同じように現状のサービスが維持できるか 再編後も同じように諸室を利用した活動ができるか
⑦ 防災機能を維持する	災害に強い施設・機能や配置	<ul style="list-style-type: none"> 既存の避難所機能が維持できるか

再配置案のたたき台【修正】

※これらの案は比較検討のためのたたき台であり、実現を担保するものではありません。

※今回のWSでの議論を踏まえ、必要に応じて修正します。

■課題解決のためのコンセプトと再配置案（たたき台）

I 現状維持案 （既存施設を有効活用）

- 既存施設を大規模改修し、利用しやすいようにする案

- 各施設を存続させ、施設配置を維持。
- 築40年を超える石山地区センターは大規模改修。
- 調理室などの利用率の低い部屋は、多用途に使える部屋やフリースペースなどに改修。
- 地域保健福祉センターの諸室は、検診などの利用がない場合は、貸室として利用。
- シルバーピア石山を改修し、学習スペース・フリースペースを整備。
- シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら、または施設の改修にあわせて廃止。

II 越後石山駅前に多機能拠点整備 （石山南まちセン活用・石山地区センター廃止）

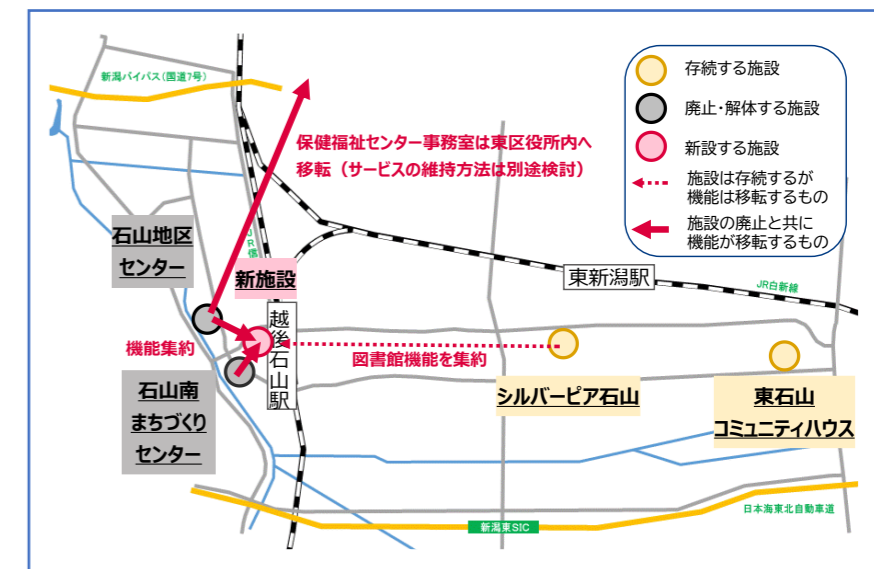
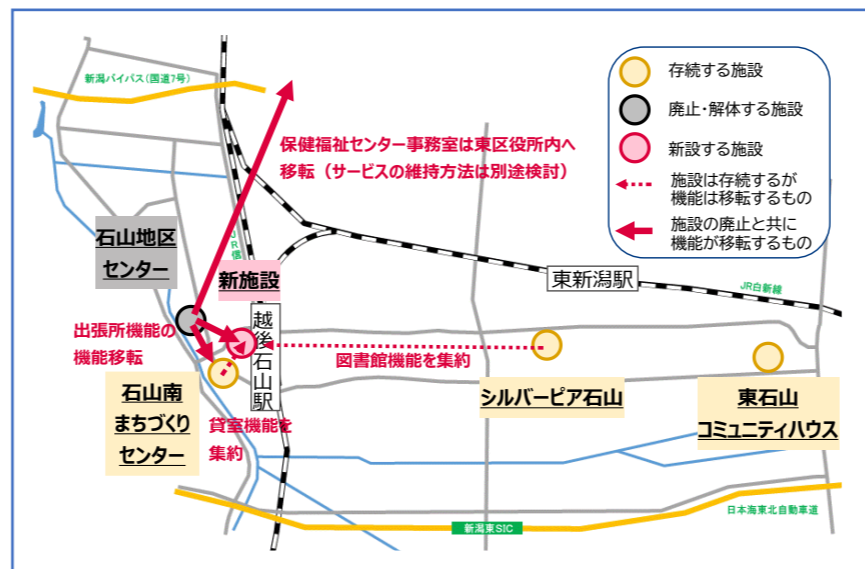
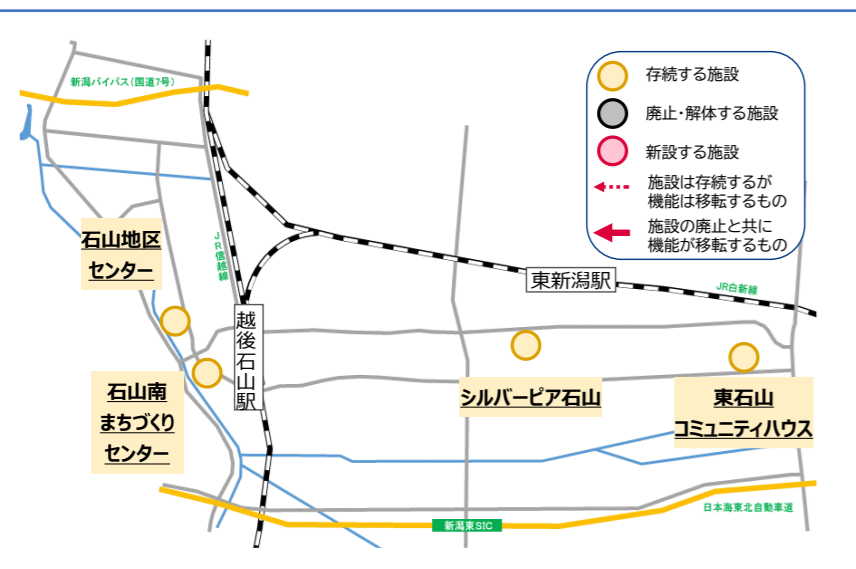
- 新施設と石山南まちセンを組み合わせる駅前機能を集約し、多世代が集える多機能拠点をつくる案

- 石山地区センターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。図書館・貸室機能を集約。
- 園芸センター記念公園の一部を活用
- 石山南まちづくりセンターは出張所に用途変更。
- 新施設及びシルバーピア石山に、学習スペース・フリースペースを整備。（新施設に公民館のホールと同程度の貸室を整備）
- シルバーピア石山の風呂機能は補修困難になったら、または施設の改修にあわせて廃止。
- 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約

III 越後石山駅前に多機能拠点整備 （石山南まちセン及び石山地区センター廃止）

- 駅前の新施設に機能を集約し、施設数を削減しながら多世代が集える多機能拠点をつくる案

- 石山地区センター、石山南まちづくりセンターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。図書館・貸室を集約、出張所機能を移転。
- 園芸センター記念公園の一部を活用
- 新施設及びシルバーピア石山に、学習スペース・フリースペースを整備。（新施設に公民館のホールと同程度の貸室を整備）
- シルバーピア石山の風呂機能は補修困難になったら、または施設の改修にあわせて廃止。
- 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約



案の概要【特徴】

- これまでと変わらず施設を利用することができる。
- 機能集約、低稼働となっている諸室の機能転用を図ることができ、利便性の向上につながる。
- 老朽化した施設の大規模改修が行われ、施設の魅力が向上する。
- 築年数の比較的長い施設も存続となるため、当該施設の更新時に改めて再編の方向性を検討する必要がある。
- 財政負担が軽減されない。
- 既存施設の改修となるため、機能の新設・再配置には制約がある。

案の概要【特徴】

- 越後石山駅前に、施設が新規整備され、駅を利用する若い世代も使いやすくなる。
- 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、複数のサービスを集約し、機能の向上を図り、効率的に施設を活用しながら、利便性の向上と施設面積の削減（財政負担の軽減）につなげる。
- 比較的改修間もない石山南まちづくりセンターを有効活用できる。

案の概要【特徴】

- 越後石山駅前に、施設が新規整備され、駅を利用する若い世代も使いやすくなる。
- 石山南まちづくりセンター跡地を駐車場として活用できる。
- 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、複数のサービスを集約し、機能の向上を図り、効率的に施設を活用しながら、利便性の向上と施設面積の削減（財政負担の軽減）につなげる。

※これらの案は比較検討のためのたたき台であり、実現を担保するものではありません。

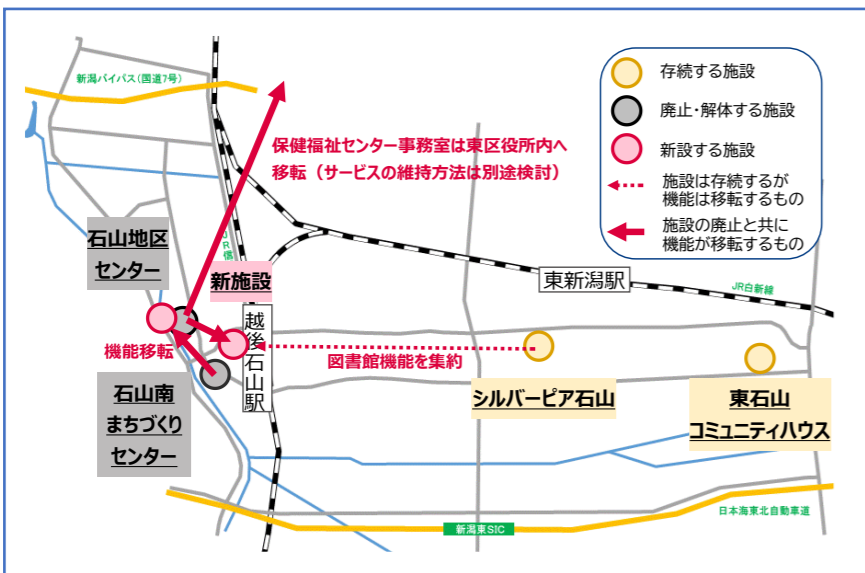
※今回のWSでの議論を踏まえ、必要に応じて修正します。

IV

越後石山駅前に多機能拠点整備 & 石山地区センター跡地を活用し新施設整備

- 施設配置を維持しながら、駅前に多世代が集える多機能拠点をつくる案

- 越後石山駅前に新施設を設置し、図書館・貸室（公民館）・出張所機能を移転。
- 園芸センター記念公園の一部を活用
- 石山地区センターの解体後、跡地にコミュニティセンターを新設（石山南まちづくりセンターと同規模程度）
- 新施設及びシルバーピア石山に、学習スペース・フリースペースを整備。（新施設に、公民館のホールと同程度の貸室を整備）
- シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら、**または施設の改修にあわせて廃止。**
- 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約



案の概要【特徴】

- 地域内のコミュニティ施設の数および配置が現状のまま維持される。
- 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、機能の向上を図り、効率的に施設を活用しながら、利便性の向上と施設面積の削減（財政負担の軽減）につなげる。
- 施設数は変わらないため、施設面積が削減されても財政負担の軽減効果は薄い。

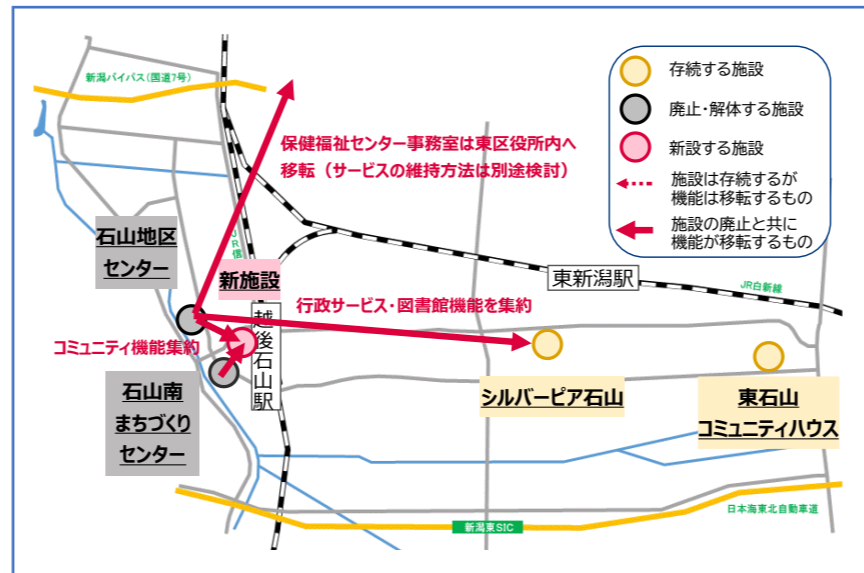
V

地域の中心に多機能集約

（シルバーピア石山へ出張所機能を移転）

- 地域全体からの行政サービスへのアクセス性を向上させながら、駅前に多世代が集える施設をつくる案

- 石山、東石山地域の中央寄りに位置するシルバーピア石山に行政サービス機能や図書館を集約させる。
- 園芸センター記念公園の一部を活用
- 石山地区センター・石山南まちづくりセンターを廃止し、越後石山駅前に新施設を設置。貸室・学習スペース・フリースペースを整備。
- （新施設に、公民館のホールと同程度の貸室を整備）
- シルバーピア石山の風呂機能は、補修困難になったら、**または施設の改修にあわせて廃止。**
- 地域保健福祉センター事務室は、区役所内へ集約



案の概要【特徴】

- 石山、東石山地域の中央寄りに位置するシルバーピア石山に行政サービス機能（出張所・図書館・貸室）が集約される。
※ただし、貸室の削減が必要
- 出張所移転による利用者増で駐車場が足りなくなる可能性がある。
- 新施設は、現状の貸室の利用状況に配慮しながら、貸室機能の集約と機能の向上を図り、効率的に施設を活用しながら、利便性の向上と施設面積の削減（財政負担の軽減）につなげる。
※ただし、仮に上記課題に対応した整備を行う場合は、コストが増加するため、効果は薄くなる（または、なくなる）